



江別市の 学校体育施設開放 事業の現状

江別市学校体育施設開放事業は、市内小中学校の学校関係活動に支障のない範囲で、定期的なスポーツ及びレクリエーション活動をの場として、体育館及びグラウンドを地域住民の団体に開放し、地域スポーツ活動の活性化を図るという目的で、現在、市内二十五小中学校の体育館等で実施しています。

開放を希望する団体が教育委員会へ団体登録を行った上で、団体の責任者(主に代表者、又は登録時に指定した現場責任者)が、活動時の安全、清掃、施設・鍵管理、照明、緊急時通報等について責任を持って管理しながら活動しています。

開放箇所と期間は平成十五年度では、小中学校の屋内体育館が平成十五年四月十五日～平成十六年三月三十一日、小学校グラウンドが平成十五年五月一日～平成十五年十月末日です。

また、開放をしている時間帯は小学校屋内体育館が、十六時～十八時四十五分、十八時四十五分～二十時四十五分の二コマに分けて、中学校屋内体育館が十九時～二十一時の二コマのみ、小学校のグラウンドは十六時～日没迄の利用としており、現在は野球、バスケットボール、バレーボール等の球技の他、鳴子踊りのクラブなど多岐に渡る種目の団体にご利用いただいております。

利用の実績は平成十四年度で、延べ開放日数(二校当たり)五千三百五十七日。利用人数が二十万三千三百三十人。登録している団体数は百二十三団体(平成十四年度末現在)となっています。

また、平成十五年度では、延べ開放日数が五千八日(平成十六年二月末現在)。利用人数が十万四千八百十三人(平成十五年十月一日現在)。登録団体数は百三十五団体(平成十五年三月九日現在)に昇り、年々活動は活発になってきています。

開放日数については、登録団体数・活動希望日数とも増加傾向にあることから、現在一部の小中学校体育館では、既に使用状況が飽和状態になっています。抜本的な解決ではありませんが、各利用団体に譲り合いや少人数で活動する複数の団体には同時に活動をお願いしている外、体育館の利用に空きのある、近隣他校での活動にご協力をお願いしているところとです。

また、学校体育施設開放事業の他にも、地域の小中学生とその保護者を対象に、学校体育施設を開放する事業として、土曜日の午前中に市内十の小中学校屋内体育館、グラウンドを開放する学校体育施設地域開放事業や、夏休み期間中に小学校のプールを開

放する夏季休業期間中プール開放事業があります。

学校体育施設地域開放事業では、週休二日制に対応してスポーツに親しむ機会を小中学生に提供する目的で、ゴールデンウィークが終わった頃から二月末迄の長期休業期間や、学校関係活動に支障のある土曜日の午前中を除いて、学校の体育館とグラウンドを開放しております。各開放校に二名の指導員がついて、年間で延べ約六千人の小中学生やその保護者の皆さんにご利用いただいております。

また、夏季休業期間中のプール開放では、やはり各開放校に二名の指導員がついて安全に注意し、水難事故やケガ等に備えています。学校のプールを利用しているので、温水プールとは違い、天候や気温によって開放を中止することもあります。それでも例年、延べ約一万人程の小中学生やその保護者の皆さんにご利用いただいております。

こちらについては、平日に定休日をいただく替りに、土日も開放して、親子でのご利用にも配慮させていただいておりますので、小中学生のお子さんのいらっしゃる方は、ぜひ今年の開放をご利用下さい。

詳しい内容は、広報えべつに掲載予定です。

稿 生きること学ぶこと 親子奮闘記

親子のひととき



金井 征子さん

今年の新年は、私にとって待ち遠しく嬉しいものでした。他の地に勤める息子、家庭を持っている二人の娘家族と夫の母……。四世代十一名がなんとか都合を付けて、三年ぶりに一堂に会しそれぞれの近況報告や、幼い頃の体験に基づき思い出話に昼夜を問わず盛り上がり、賑やかに和やかに楽しいお正月は「アッ」という間に過ぎてしまいました。

娘達曰く「近くに子どもがいて、孫までいる人ってだんだん少なくなつて来ているんだよ。両方手に入れているお母さんは幸せ者だよ。」と。また、自分の願ひ通りの仕事に就いた息子も、帰宅する前日に照れ臭そうに、私にもお年玉をくれました。息子にとつて三〜四ヶ月分の生活費だろに……と思いつつも、思い

がけない出来事に「有難う。生活は大丈夫なの？」と尋ねるのが一杯で、涙脆くなった私は胸を熱くして、再び嬉しさを味わいました。

夫と家庭を持ったばかりの若い頃、我が家の財産は子どもしかないねえ……と語つたのですが、どの子もいつの間にか親の事、周りの事にも心配りが出来る社会人になったのだなあと安堵の気持ちと、私の子育ての遠い日を振り返る時、多分に未熟な母であった事に密かに心痛む思いますが、何事にも前向きにいい家族でいたいと願つていきます。(野幌町在住)

”女“四世代に生きて



高田 幸子さん

私は、半径百メートル以内で親族が多数住んでおります。義母とは子どもの立場で尊重し合い、叔母とは隣りの人と思ひお

互い助け合い、嫁、小姑達は同居人の延長として、義姉とは信じ合える同志として、又義妹とは友達感覚で接しています。その中で接点の多い、四世代

について申しますと、義母はひ孫と遊び、読書、童謡を通じて心身共に若さを保ち、私は孫とスキミングをする事で教えられる事も多く、ストレス解消で心も体もリフレッシュしています。娘は親として時には厳しく、又ある時は優しくと、子どもに対しては、家族の深い愛情に支えられて育児と仕事の両立をさせて頂いています。孫に関しては、姉妹ですがお互いに自己主張がありながらも、思いやりを持ち、助け合いながら子どもの世界を創つていきます。

この様に、私たちは出会いによって、祖母になったり母親や子どもになったりと、立場で人間関係が変わる事で感動も多く、心身共に成長出来る絶好の機会だと思つていきます。

我が家はカラスが鳴かない日があつても、来客のない日はない程です。私にとつては多忙の中にも、この様な人間関係を送られる事に対して、感謝の気持ちと同時に充実感を味わっています。今日も又、色々な笑い声が我が家を賑やかにするでしょう。(東野幌町在住)

子どもから貰った感動



蛸名 悦子さん

私には三人の子どもがいます。

長男は二十二歳で、昨年春に社会人になりました。学生の時の様に自分勝手な行動ばかりはしてられないので、少し窮屈な毎日を送っている様です。車で出掛ける事も多いので心配は絶えません。

長女は二十歳で、この春専門学校を卒業します。ただ今就職活動中です。本人なりに努力して、履歴書に書ききれないくらい資格を取ったのですが、内弁慶な性格が災いして、面接で自分をアピールすることが出来ないみたいです。最近娘と二人でよく旅行をします。ひとり娘であり大の親友でもあります。

二男は十七歳で、広域通信制の高校の二年生です。本人の能力にあったのびのびと勉強の出来る学校です。先生や仲間にも恵まれて楽しい学校生活を送っています。

私も母になって二十二年が過ぎましたが、初めての子育てはゼロからのスタートで分からないことだらけだったので、楽しいとか子どもが

可愛いとか思う暇もない様な毎日でした。子ども達が小さい時は、自分自身の事はすべてが後回しで、大変な事はばかりでした。若い時の子育ては、悲しい事や苦しい事や頭にくる事の連続で、喜びはほんのわずかでした。

そんな毎日の中、クラス一小柄で足の遅い二男が、体育祭の千五百メートル走のクラス代表になってしまいました。当日の千五百メートル走は、私と友人の応援する中スタートしました。祈るような気持ちで見守る私の前を走る二男は、見る見る周回遅れとなつてしまいました。私の声にならない声援を受けた二男は、ゆつくりだけど歩く事も止まる事もなく、ゴールに向かって走り続けていました。ただひたすらゴールに向かう二男には、グラウンドを取り囲むすべての人達から、声援と拍手が送られたのは言うまでもありません。その時の二男の姿は、私にはとても誇らしく思え、普段はなかなか味わうことの出来ない感動を与えて貰いました。私の目からは涙がこぼれ落ちていましたが、私以上に友人が涙を流してくれたことを、昨日のこの様に思い出します。

最近はずくづく子育てに決して終わりはないと思ひながらも、大人になった子ども達と楽しく付き合っていきたいと考えられる様になつてきました。(見晴台在住)

読み聞かせボランティアグループ 『おはなしなあに』

代表 松山 和子

「おはなしなあに」は、毎週金曜日午前十時三十分から十一時三十分まで大麻公民館で、絵本の読み聞かせを行なっているグループです。活動は今年で二十二年目になりました。

思春期の子どもの達の事件や幼児の虐待問題など、考えられない事件が日常的に起こる社会環境に、なぜ「こころ」が育まれているのか悲しい思いがたします。幼児期に親と子が、どのくらいの時間をかけて、互いの「こころ」を育みあ

ったかが、問われている時代なのかもしれません。

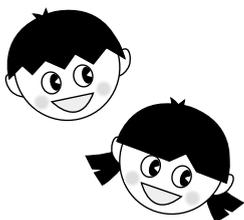
「おはなしなあに」では、絵本を読んでもらう事や簡単な工作を、母と子で一緒に体験することで、お互いの「こころ」を育む場のお手伝いをさせていただいているのです。小さな子がいて閉じこもりがちで：という方、小さな子がいるから行ける場所もあるのです。お母さんのひざから離れられなかった子が、いつの間にか小さいお友達と走り回り、そして気が付くと、絵本の前でキラキラした瞳で座っている子の発達していく様子が、私たちのところに喜びとなつて響く時でもあるのです。

メンバーの入れ替わりもあり、活動内容も障がいのある方たちへの読み聞かせや、保健センターの検診時での絵本の紹介など、また他の地域で同様の活動をしているグループとの交流会や市内で子どもの文化に関わる「子ども文化ネットワーク江別」の設立などの広がりもでてきました。でも、基本はさらさらの瞳に出会いたくてという



ころに変わりはありません。メンバーとしてのお仲間もいつでも募集中です。子どもがいてもできる社会参加の場としてどうぞのぞいて見て下さい。楽しそうな笑顔がいっぱいです。

おはなしなあに／読み聞かせボランティアサークル。大麻公民館、社会福祉施設などで活動。現在のメンバーは十二人。
詳細は松山さん(TEL 三八五―四七八八)へ。



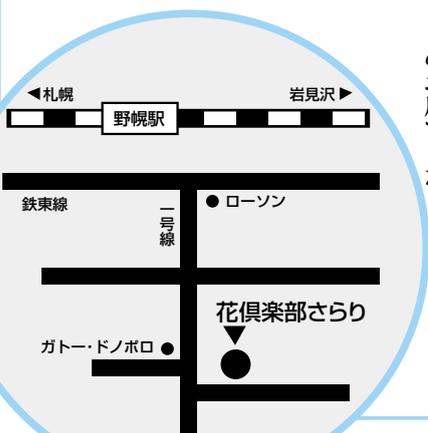
市内学習ポイント 26



アトリエショップ「花倶楽部さらり」

京や札幌で生け花やディスプレイの勉強をし経験を積みました。この牛舎との出会いは、向かいのお菓子屋さんに花を生けていた時、「絶対これだ!」と心に決めたそうです。この建物は、下が寒く上が暖かいので、花に適しているとの事です。牛舎の後方にあつて、ひととき目を引くサイロは現在、倉庫として使用されています。この古い牛舎には、珍しさや懐かしさを求めて、小学生やお年寄りも時々覗きに來るそうです。お店の名前「さらり」は、「さりげなく、気を張らず、ちょっとおしゃれ」との意味で、癒し系のお店を目指しています。お花屋さん傍ら、デパートや飲食店のディスプレイ、フラワーアレンジメントの講習等を行っています。季節を先取りした品揃えを心掛け、お客さまにアドバイスもしているとの事です。さらりは、ふつと目的を持たずに入っても、何かしら自分に合ったものが見つかる、そういう感じのお店でした。

今回の学習ポイント、アトリエショップ「花倶楽部さらり」は、野幌駅南口から、二号線(「お菓子通り」とも呼ぶそうです。そう言えば、お菓子屋さんが多い様です。)を南に歩いて七、八分のところにありました。通りの名前どおり、お菓子屋さんの真向かいの、古い牛舎を利用したアンティークな建物です。中に入りますと、牛舎の内装をそのままに生かしたインテリアになっていて、生花やドライフラワー、花器、アクセサリー等の雑貨がところ狭しと並べられ、雑然としたなかにも、オーナーのコンセプトが感じられます。二階はテーブルがセットされており、コーヒークッキングやミーティングが出来る様になっています。オーナーの及川麻弥さんは、東



平成16年3月現在の会員は次の70団体です。

札幌学院大学
北海道浅井学園大学
北海道大麻高等学校父母と教師の会
江別市PTA連合会
江別市小中学校長会
江別市子ども会育成連絡協議会
江別市青少年のための市民会議
日本ボーイスカウト江別第一団
江別モラロジー事務所
札幌理工学院
江別市文化協会
劇団「川」
北陽美術協会
MOA美術文化サークル会
江別短歌会
江別市菊友会
大麻華道研究会
池坊いけ花蘭香会
池坊溪月会
表千家流茶道山路の会
清池会
江別吹奏楽団
日本民謡尺八道小路流江別竹豊会
(社)日本詩吟学院岳風会江別支部
日本吟詠連盟惣岳流静樹会
豊泉流詩吟北州会大麻吟詠会
江別まっことええ&北海道情報大学
(財)江別市スポーツ振興財団
江別市体育協会
江別市スポーツ少年団
大麻スポーツ振興会
3B体操江別サークル
おはなしなあに
江別痴呆の人の家族を支える会
江別ファミリーサービスクラブ

江別家庭生活カウンセラーグループ
江別市赤十字奉仕団
江別芸能赤十字奉仕団
江別市自治会連絡協議会
江別地区自治会連絡協議会
野幌地区自治会連絡協議会
江別市社会福祉協議会
江別市民生委員児童委員連絡協議会
江別市高齢者クラブ連合会
江別地区保護司会
江別更正保護女性会
江別市母子会
江別手をつなぐ育成会
江別市民憲章推進協議会
(社)江別医師会
江別市食生活改善協議会
江別地方食品衛生協会
江別保健所管内栄養士会
江別消費者協会
江別防犯協会
江別市女性団体協議会
(社)江別青年会議所
江別ライオンズクラブ
江別西ロータリークラブ
江別ユネスコ協会
江別市民国際交流協会
江別日中友好の会
(社)江別市シルバー人材センター
野幌窯業振興協会
江別建設業協会
江別製菓組合
野幌商店街振興組合
王子製紙(株)江別工場
北海鋼機株式会社
(株)北海道情報技術研究所

協議会加入会員紹介

☆ 協議会の会員になりませんか? ☆

江別市生涯学習推進協議会では会員を随時募集しています。会員になりますと、協議会のホームページを利用して、団体の行事・イベント情報なども広くPRすることができます。団体・個人を問わずいつからでもOKですので事務局までご連絡下さい。

また、「ら・ら・ら」への皆様からの原稿もいつでも大歓迎です。こちらも事務局までご一報下さい。

【事務局】 江別市教育委員会生涯学習課
TEL 011-381-1062
FAX 011-382-3434
e-mail <http://www.e-lalala.org/>

桃の花や梅の花の便りの届く季節になってきました。

今年度の「ら・ら・ら」はいかがでしたか? 次回を楽しみにしていただけるよう、来年度も紙面の充実を図りたいと思います。

木の芽が少しずつ春の準備を始めています。ダッシュして転ばないように足元を見ながら、マイペースで歩みを進めていきましょうか。(松山)

